

7/19/1 Links

Derwent WPIX

(c) 2005 Thomson Derwent. All rights reserved.

011708830      \*\*Image available\*\*

WPI Acc No: 1998-125740/199812

XRPX Acc No: N98-100214

Storage container for holding paint can during painting work

- has flexible plastic accommodation bags which are positioned in paint container during painting operation

Patent Assignee: NAGASHIMA H (NAGA-I); NAGASHIMA KK (NAGA-N); NAKATANI S (NAKA-I)

Number of Countries: 001    Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 10007170	A	19980113	JP 96181228	A	19960621	199812 B

Priority Applications (No Type Date): JP 96181228 A 19960621

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 10007170	A		9	B65D-077/04	

Abstract (Basic): JP 10007170 A

The storage container (1) consists of an outer container body (2) inside which a paint container (3) is positioned. The outer container body also accommodates flexible plastic accommodation bags (4) for storing a required paint.

During usage, the plastic bag is positioned inside the paint container.

ADVANTAGE - Avoids unnecessary cleaning of paint container. Offers economical and convenient painting.

Dwg.1/13

**BEST AVAILABLE COPY**

特開平10-7170

(43)公開日 平成10年(1998) 1月13日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所	
B 6 5 D	77/04		B 6 5 D	77/04	Z
	5/60			5/60	C
	25/16			25/16	
	81/36			81/36	S

審査請求 未請求 請求項の数7 F D (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平8-181228  
(22)出願日 平成8年(1996) 6月21日

(71)出願人 000214663  
長島 広久  
埼玉県川越市大字下赤坂大野原718番地  
八洲工業株式会社 川越工場内  
(71)出願人 000150682  
株式会社長島  
東京都練馬区桜台1丁目18番6号  
(71)出願人 000212599  
中谷 進  
山梨県中巨摩郡檜形町吉田898番地7-6号

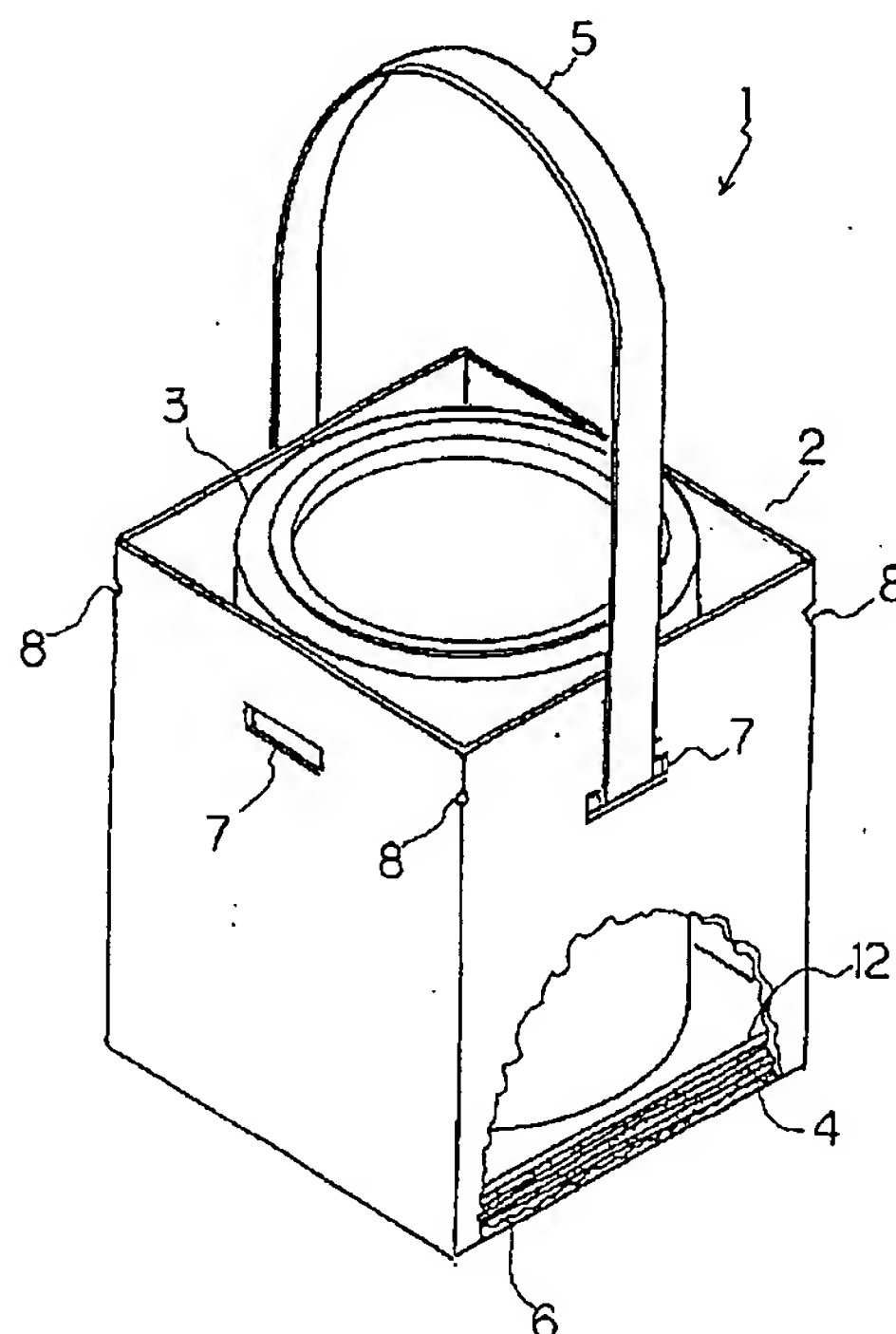
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 作業用容器付塗料等の収納容器

(57)【要約】

【課題】 洗浄することなく繰り返し使用できる作業用容器と塗料等密封容器とからなる作業用容器付塗料等の収納容器の提供にある。

【解決手段】 塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、からなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、

この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、からなることを特徴とする作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項2】 塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、

この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための、該作業用外容器の開口部と略同じくらいの大きさの開口部を形成する柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、

前記収納袋の開口部内側に曲げるなどして挿入係止し、該収納袋の開口部を前記作業用外容器の開口部形状に広げ形成する袋開口部形成手段と、

前記収納袋を取り付けた袋開口部形成手段を前記作業用外容器の開口部に嵌合装着してなることを特徴とする作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項3】 作業用外容器が側壁及び底部の連結を解かず折り畳みまたは再組立を可能としてなる容器であることを特徴とする請求項1又は2記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項4】 塗料等密封容器が折り畳み状態あるいは平状態から容器体にできる容器であることを特徴とする請求項1、2又は3記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項5】 塗料等密封容器が柔軟性合成樹脂部材製の袋状部材からなる容器であることを特徴とする請求項1、2又は3記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項6】 作業用外容器が紙製部材であることを特徴とする請求項1、2、3、4又は5記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項7】 収納袋を複数枚備えてなることを特徴とする請求項1、2、3、4、5又は6記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は作業用容器付塗料等の収納容器に関する。

【0002】

【従来の技術】従来においては、塗料を密封した塗料等密封容器と塗装作業に使用する作業用容器は別個の容器であった。また、開口部を有する塗料等密封容器と作業用容器を兼ねるものがあった。

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の技術においては、塗装をするためには塗料等密封容器と該塗料

等密封容器と別個に高価な作業用容器の両方を購入しなければならず経済的ではなかった。また、高価な作業用容器は使用後は洗浄して再使用するか、塗料を付着させたまま使い捨てにするかであったが、洗浄時間が必要、塗料の付着した作業用容器の廃棄が困難など、大きなコストとリスクがともなうものであった。また、開口部を有する塗料等密封容器と作業用容器を兼ねるものは、開口縁を使つての刷毛の扱き操作により、蓋の嵌合する溝などに塗料が溜り固まり、蓋が密封できなくなるという問題を持っていた。本発明は、以上のような従来技術の持つ問題点に鑑みてなされたものであつて、その目的は、洗浄することなく繰り返し使用できる作業用容器と塗料等密封容器とからなる作業用容器付塗料等の収納容器の提供にある。

【0003】

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために、本発明のうちで請求項1記載の発明は、塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器、この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器と、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、からなることを特徴とするものである。また請求項2記載の発明は、塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器と、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための、該作業用外容器の開口部と略同じくらいの大きさの開口部を形成する柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、前記収納袋の開口部内側に曲げるなどして挿入係止して、該収納袋の開口部を前記作業用外容器の開口部形状に広げ形成する袋開口部形成手段とからなり、前記収納袋を取り付けた袋開口部形成手段を前記作業用外容器の開口部に嵌合装着してなることを特徴とするものである。また請求項3記載の発明は、請求項1又は2に記載の発明の作業用外容器が、側壁及び底部の連結を解かず折り畳みまたは再組立を可能としてなるものであることを特徴とするものである。また請求項4記載の発明は、請求項1、2又は3に記載の塗料等密封容器が、折り畳み状態あるいは平状態から容器体にできるものであることを特徴とするものである。また請求項5記載の発明は、請求項1、2又は3に記載の塗料等密封容器が、柔軟性合成樹脂部材製の袋状部材からなるものであることを特徴とするものである。また請求項6記載の発明は、請求項1、2、3、4又は5に記載の作業用外容器が、段ボール等の紙製部材であることを特徴とするものである。また請求項7記載の発明は、請求項1、2、3、4、5又は6に記載の収納袋を、複数枚備えてなることを特徴とするものである。

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を図面を参照



しながら説明する。この実施の形態に記載されている構成部品的大小、形状、寸法、材質、数、その相対配置などは、特に特定の記載がないかぎり、本発明の範囲をそれらのみに限定する趣旨のものではなく、単なる説明例にすぎない。

#### 【0004】実施の形態1

図1は本発明の実施の形態1を示す斜視図、図2は同じ実施の形態1を示す作業用容器の組立手順斜視図、図3は同じ実施の形態1を示す使用状態斜視図である。収納容器1は、作業用外容器2、塗料密封容器3、収納袋4、持ち手5、敷板12とからなっている。作業用外容器2は、側壁及び底部6の連結を解かずに折り畳み再組立を可能とした上部が四角形に開口してなる段ボール製部材からなっていて、全ての側部には持ち手6を取り付ける持ち手取付穴7が形成され、上方の角を小さくカットして形成した袋ひっ掛け部8されてなっている。塗料密封容器3には塗料9が収納されている。収納袋4は柔軟性合成樹脂製部材であるポリエチレン製の袋であって、作業用外容器2の収納形状（開口部形状）と同じ形状で同じ大きさになるもので、対向する二つの側壁を中心から折入れ畳んだ状態で下部を横に融着して、広げると対向した三角形の二層部分を有した四角形の底部10を形成するものである。持ち手6は、柔軟性合成樹脂製部材からなるバンドで、その両先端には顎11が形成されている。敷板12は段ボール製板部材からなっている。図1において、収納容器1は、作業用外容器2には折り畳んだ収納袋4が複数枚敷かれ、その上に敷板12が敷かれ、その上に塗料密封容器3が載せられて収納されてなっている。図2において、空にした作業用外容器2（敷板12は収納されている。）を折り畳み手で少し曲げたり歪めたりして、収納袋4の開口部に挿入する。手を離すと作業用外容器2の外周径よりわずかに小径の収納袋4の上方は張られて該2の上方に係止され、該4はその柔軟性により袋ひっ掛け部8に食い込み、容易にはずれたりしないように係止される。このようにして作業用外容器2と収納袋4の組み合わせにより作業用容器13を作成する。作業用外容器2を容器体に組み上げ（広げ）て、敷板12を押し下げ敷き、収納袋4を手で作業用外容器2内に押し込み整え、塗料密封容器3の塗料9を注ぎ入れる。使用後は塗料の付着した収納袋4は作業用外容器2から取り外し廃棄処分し、作業用外容器2は新しい収納袋4を取り付け繰り返し使用する。

【0005】本実施の形態は以上のような構成となっているので、以下に述べるような効果を奏するものである。安価な段ボール製の作業用外容器に安価な柔軟性合成樹脂部材製の収納袋を収納してなる作業外容器に塗料を収納するものなので、大変安価な作業用容器を実現するものである。さらに、使用後は塗料の付着した収納袋のみを洗浄することなく使い捨て的に廃棄処理し、作業用外容器は新しい収納袋を収納し繰り返し使用するもの

なので、洗浄時間、廃棄処理費用の軽減などコストを軽減するものである。そして、本実施の形態によれば塗料等を購入すると、上述した特徴を有する作業用容器が一体として付いてくるので、別個に高価な作業用容器を購入することがなく大変経済的で便利なものである。さらに、従来は塗料等密封容器の全体を塗り潰し会社名等を印刷していたが、本実施の形態によれば、塗料等の密封容器は最小限の印刷にして、作業用外容器に会社名、製品名、使用方法等を大きく表示できるものである。また、作業用外容器を、側壁及び底部の連結を解かずに折り畳みまたは再組立を可能としたものなので、作業用外容器を折り畳んだ状態で輸送・搬送・収庫できるので、コストを安くできるという効果を有するものである。また、作業用外容器を、段ボール製部材としたものなので、収納袋により作業用外容器には塗料が付着しないものであるので、使用済みの作業用外容器を紙としてリサイクル処理することができ、より安価で環境を汚染し難い塗料の収納容器を実現するものである。また、収納袋を複数枚備えたものなので、作業用外容器を汚さずに複数回使用し続けることができ、この点でも大変経済的である。持ち手取付穴7が全側壁の設けてあるのは、最初の該7が破けるなどしても持ち手5を差し替えることより、より長く多くの回数使用し続けることができるようにするためのものである。

#### 【0006】実施の形態2

図4は本発明の実施の形態2を示す一部切欠斜視図、図5は同じ実施の形態2を示す作業用容器の組立手順斜視図、図6は同じ実施の形態2を示す使用状態斜視図である。収納容器20は作業用外容器21、袋開口部形成手段22、塗料密封容器3、収納袋4、持ち手23とからなっている。作業用外容器21は、紙製部材を四角筒状に圧縮成形して堅固な底部24を設け、側壁の上方に持ち手取付穴25をあけてなっている。そして持ち手取付穴25には容器内側から取付ボタン26の拡張先端部27が差し込まれ貫通し、該27に持ち手23の端に付けられた取付穴28をはめ入れて、該23が回転自在に取り付けられている。袋開口部形成手段22は、作業用外容器21と同じ形状の弾性力を有するリング製部材からなっていて、作業用外容器21に外側から嵌合するようになっている。そして、作業用外容器21に取り付けられた場合、取付ボタン27により下方に行かないよう止められるようになっている。図4において、収納容器20は、作業用外容器21に折り畳んだ収納袋4が複数枚敷かれ、その上に塗料密封容器3が載せられるように収納されてなっている。図5において、袋開口部形成手段22を手で曲げたり歪めたりして、収納袋4の開口部に挿入し手を離す。袋開口部形成手段22の外周径よりわずかに小径の収納袋4の上方は張られて該22の上方に係止され、該4はその柔軟性により袋ひっ掛け部8に食い込み、容易にはずれたりしないように係止される。袋

開口部形成手段２２は作業用外容器２１に嵌合して、収納袋４を手で押し込み整える。このようにして作業用外容器２１と袋開口部形成手段２２と収納袋４との組み合わせにより作業用容器２９を作成する。塗料密封容器３の塗料９を注ぎ入れる。使用後は塗料の付着した収納袋４は袋開口部形成手段２２から取り外し廃棄処分し、袋開口部形成手段２２には新しい収納袋４を取り付け繰り返し使用する。

【０００７】従来は、作業用外容器の開口部と同じくらいの開口部となる収納袋を、該作業用外容器の開口部の外側に手によって装着するのは大変難しく時間のかかるもので実用的ではなかった。しかし、袋開口部形成手段を用いることにより、いとも簡単に収納袋の開口部が作業用外容器の開口部に嵌合するように形成できるものである。上述したような袋開口部形成手段を設けることにより、収納袋が作業用外容器の開口部と同じ大きさのものである。収納した際の収納袋が作業用外容器とフィットして綺麗であり、収納袋を最小限の材料により実現することを可能とするものである。コストを安価にできるものである。

#### 【０００８】実施の形態３

図７は本発明の実施の形態３を示す一部切欠斜視図である。収納容器４０は、塗料密封容器４１、作業用容器２９からなっている。塗料密封容器４１は容器本体４２が柔軟性の透明なポリエチレン製部材からなっていて、容器本体４２の天部にはキャップ４３で封印された注ぎ口４４が設けられている。また、塗料密封容器が平板状態で製造ラインに搬送されるので、製造コスト等を軽減することができるものである。塗料等封容器が安価なので、より安価な収納容器を提供できるものである。また、従来の缶製の塗料密封容器においては、使用後は大量の塗料が付着しているうえに嵩張るので処理に大きな経費がかかるものであった。しかるに本塗料密封容器により、従来技術のもつ上記のような問題を大きく改善できるものである。

#### 【０００９】実施の形態４

図８は本発明の実施の形態４を示す部分切欠斜視図である。収納容器５０は、塗料密封容器５１、作業用容器１３からなっている。塗料密封容器５１は、ポリエチレン等をコートしてなる厚紙製からなっていて容器本体５２と、該５２の天部に設けられたキャップ４３で封印された注ぎ口４４からなっている。塗料密封容器５１も作業用容器１３も容易に焼却処理することができるものである。後処理が楽である。

#### 【００１０】実施の形態５

図９は本発明の実施の形態５を示す部分切欠斜視図である。収納容器６０は、作業用容器６１と塗料密封容器６２からなっている。作業用容器６１は、作業用容器２９の袋開口部形成手段２２に切り取りが容易な天板６３を設けたもので、袋開口部形成手段２２と天板６３で蓋を

構成している。天部外側に舌片を有する合成樹脂製シートを貼りつけるのもよい。塗料密封容器６２は小袋に塗料９を密封してなるもので、数個が収納されてなっている。

#### 【００１１】実施の形態６

図１０は本発明の実施の形態６を示す断面図、図１１は同じ実施の形態６を示す使用状態図である。収納容器７０は、作業用外容器７１、塗料密封容器７２、収納袋４、蓋７３、袋開口部形成手段７４からなっている。作業用外容器７１は、上部が開口した円筒形の金属缶からなり、持ち手７５が取り付けられている。塗料密封容器７２は、作業用外容器７１に収納される該７１と同じ形状の合成樹脂製部材でできており、天部にスパウト栓７６が取り付けられている。スパウト栓７６は、塗料密封容器７２内に埋没させてあり、蓋に設けられた指掛けリングを起こし指を掛けて引き上げることにより、天部より突出させることができるものである。袋開口部形成手段７４は弾力性のあるリングで、作業用外容器７１の上部外側に嵌合させて使用するものである。図１０において、収納容器７０は、作業用外容器７１に塗料密封容器７２を収納し、その上に複数の枚の畳んだ収納袋４を載せ、袋開口部形成手段７４を嵌合し、蓋７３をしてなっている。収納袋が一番上にあるので、容器の使用について分かり易い。図１１において、袋開口部形成手段７４を手で曲げたり歪めたりして、収納袋４の開口部に挿入し手を離す。袋開口部形成手段７４は弾性力により元のリングに戻り、該７４よりも小径の収納袋４の開口部に押し付け密着して、容易には動かないように係止する。空にした作業用外容器７１に収納袋を取り付けた状態の袋開口部形成手段７４を嵌合し、収納袋４を手で押し下げ整え作業用容器７７を作成する。塗料を注ぎ入れる。既存の塗料密封缶を作業用外容器とし、その中に収納袋と塗料を密封した柔軟性合成樹脂部材製の袋状部材を収納した収納容器にすることにより、従来の塗料密封缶にも塗料を付着させることなく、他のことにも利用できリサイクル処理ができるものとすることができ、さらに安価な収納容器とすることができるものである。また、スパウト栓７６が突出した状態で塗料を注ぎ出すものであるので、スパウト栓７６に液溜りが生じて蓋の密封が低下することがなく、塗料を長期間保管しても安心なものである。

#### 【００１２】実施の形態７

図１２は本発明の実施の形態７を示す斜視図、図１３は同じ実施の形態７を示す使用状態図である。収納容器８０は、作業用外容器８１、塗料密封容器７２、収納袋４、袋開口部形成手段８２からなっている。作業用外容器８１は、作業用外容器７１を少し短くしたものである。袋開口部形成手段８２は弾力性のある作業用外容器８１より長い円筒状部材からなっていて、作業用外容器８１に収納して使用するものである。図１２において、



収納容器 80 は、作業用容器 81 に袋開口部形成手段 82 を収納し、収納袋 4 を複数枚底に敷き、さらに塗料密封容器 72 を収納してなっている。図 13 において、袋開口部形成手段 82 を手で曲げたり歪めたりして、収納袋 4 の開口部にその上方を挿入し手を離す。袋開口部形成手段 82 は弾性力により元の円筒に戻り、該 82 よりも小径の収納袋 4 の開口部に押し付け密着して、容易には動かないように係止する。空にした作業用外容器 71 に収納袋を取り付けた状態の袋開口部形成手段 82 を収納し、収納袋 4 を手で押し下げ整え作業用容器 83 を作成する。塗料を注ぎ入れる。

【0013】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のうち請求項 1 記載の発明は、塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器と、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、からなっているもので、空にした作業用外容器に収納袋を収納して、該収納袋に塗料等密封容器の塗料等を注ぎ入れ収納し塗装作業等を行なうことができ、使用後は塗料の付着した収納袋のみを廃棄処理することができるものであり、後日使用する場合は作業用外容器に新しい収納袋を収納し塗料等を収納し塗装作業等を行なうことができるものである。以下に述べるような効果を奏するものである。本発明によれば、塗料等を購入すると作業用容器が付いてくるものなので、別個に高価な作業用容器を購入することがなく大変経済的で便利なものである。付いてくる作業用容器は、安価な柔軟性合成樹脂部材製の収納袋に塗料を収納するものであり、作業用外容器も段ボール製や圧縮厚紙製の処理し易い安価な部材にすることができるので、大変安価な作業用容器を実現するものである。さらに、使用後は塗料の付着した収納袋のみを洗浄することなく使い捨て的に廃棄処理し、作業用外容器は新しい収納袋を収納し繰り返し使用するものなので、洗浄時間の解消、廃棄処理費用の軽減などコストを軽減するものである。さらに、塗料等密封容器を作業用容器としてしようするものでないの、注ぎ出し口を塗料を注ぎ出しても液垂れの起こらない大きなものにでき、液溜りによる密封状態低下を起こさない塗料等密封容器を実現するものである。さらに、従来は塗料等密封容器の全体を塗り潰し会社名等を印刷していたが、本発明によれば、塗料等の密封容器は最小限の印刷にして、作業用外容器に会社名、製品名、使用方法等を大きく表示できるものである。

【0014】請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成の収納袋を、作業用外容器の開口部と略同じくらいの大きさの開口部を形成するものとし、収納袋の開口部内側に曲げるなどして挿入係止し、該収納袋の開口部を前記作業用外容器の開口部形状に広げ形成する袋開

口部形成手段を加えるものである。このようにしたので、収納袋の開口部を作業用外容器の開口部形状に広げてなる袋開口部形成手段を、作業用外容器の開口部外側に嵌合装着し、取り付けられた収納袋を該作業用外容器内に押し込み収納して使用できるものであり、請求項 1 記載の発明の効果に加えて以下に述べるような効果を奏するものである。従来は、作業用外容器の開口部と同じくらいの開口部となる収納袋を、該作業用外容器の開口部の外側に手によって装着するのは大変難しく時間のかかるもので実用的ではなかった。しかし、袋開口部形成手段を用いることにより、いとも簡単に収納袋の開口部が作業用外容器の開口部に嵌合するように形成できるものである。以上のような袋開口部形成手段を設けることにより、収納袋が作業用外容器の開口部と同じ大きさのものなので、収納した際の収納袋が作業用外容器とフィットして綺麗であり、収納袋を最小限の材料により実現することを可能とするものである。コストを安価にできる。

【0015】請求項 3 記載の発明は、請求項 1 又は 2 記載の発明の作業用外容器を、側壁及び底部の連結を解かず折り畳みまたは再組立を可能としたものなので、請求項 1 又は 2 記載の発明の効果に加えて、作業用外容器を折り畳んだ状態で輸送・搬送・収庫できるので、コストを安くできるという効果を有するものである。

【0016】請求項 4 記載の発明は、請求項 1、2 又は 3 記載の発明の塗料等密封容器を、折り畳み状態あるいは平状態から容器体に組み上げることができるものとしたので、請求項 1、2 又は 3 記載の発明の効果に加えて、塗料等密封容器を折り畳んだ状態で輸送・搬送・収庫できるので、製造コストを安くできるという効果を有するものである。

【0017】請求項 5 記載の発明は、請求項 1、2 又は 3 記載の発明の塗料等密封容器を、柔軟性合成樹脂部材製の袋状部材としたものなので、請求項 1、2 又は 3 記載の発明の効果に加えて、塗料等密封容器も安価にでき、より安価な収納容器を提供できるものである。また、従来の塗料密封缶を作業用外容器とし、その中に収納袋と塗料を密封した柔軟性合成樹脂部材製の袋状部材を収納した収納容器にすることにより、従来の塗料密封缶にも塗料を付着させることなく、他のことにも利用できリサイクル処理ができるものとすることができ、さらに安価な収納容器とすることができるものである。

【0018】請求項 6 記載の発明は、請求項 1、2、3、4 又は 5 記載の作業用外容器を、段ボールなどの紙製部材としたものなので、請求項 1、2、3、4 又は 5 記載の発明の効果に加えて、収納袋により作業用外容器には塗料が付着しないものである。使用済みの作業用外容器を紙としてリサイクル処理することができ、より安価で環境を汚染し難い塗料の収納容器を実現するものである。

【0019】請求項 7 記載の発明は、請求項 1、2、

22--袋開口部

23 — 持ち手

24--底部

24——底部

## 25—一持ち手取付穴

## 26-1 取付ボタン

### 27-1 拡張先端部

28——取付穴

29--作業用容器

40——收納容器

#### 4 1 — 塗料密封容器

## 4 2 — 容器本体

43--キャップ

44——注ぎ口

50——收納容器

## 5 1 — 塗料密封容器

## 5 2 —— 容器本体

60——收納容器

## 6 1 — 作業用容器

## 6 2 — 塗料密封容器

63——天板

64——ミシン線

70——收納容器

## 7 1 — 作業用外容器

## 7 2 — 塗料密封容器

73--蓄

74——袋開口:

75——持ち手

76—スパウト栓

77——作業用容器

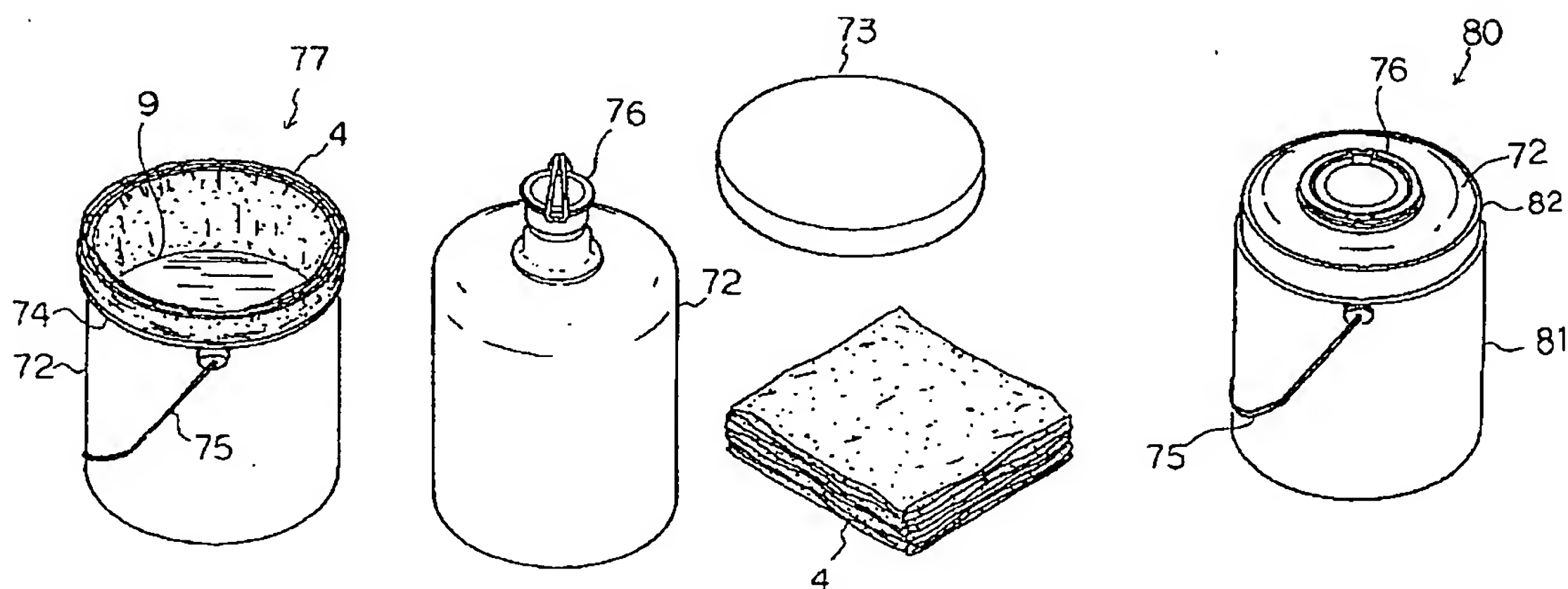
80——收納容器

81 — 作業用外容器

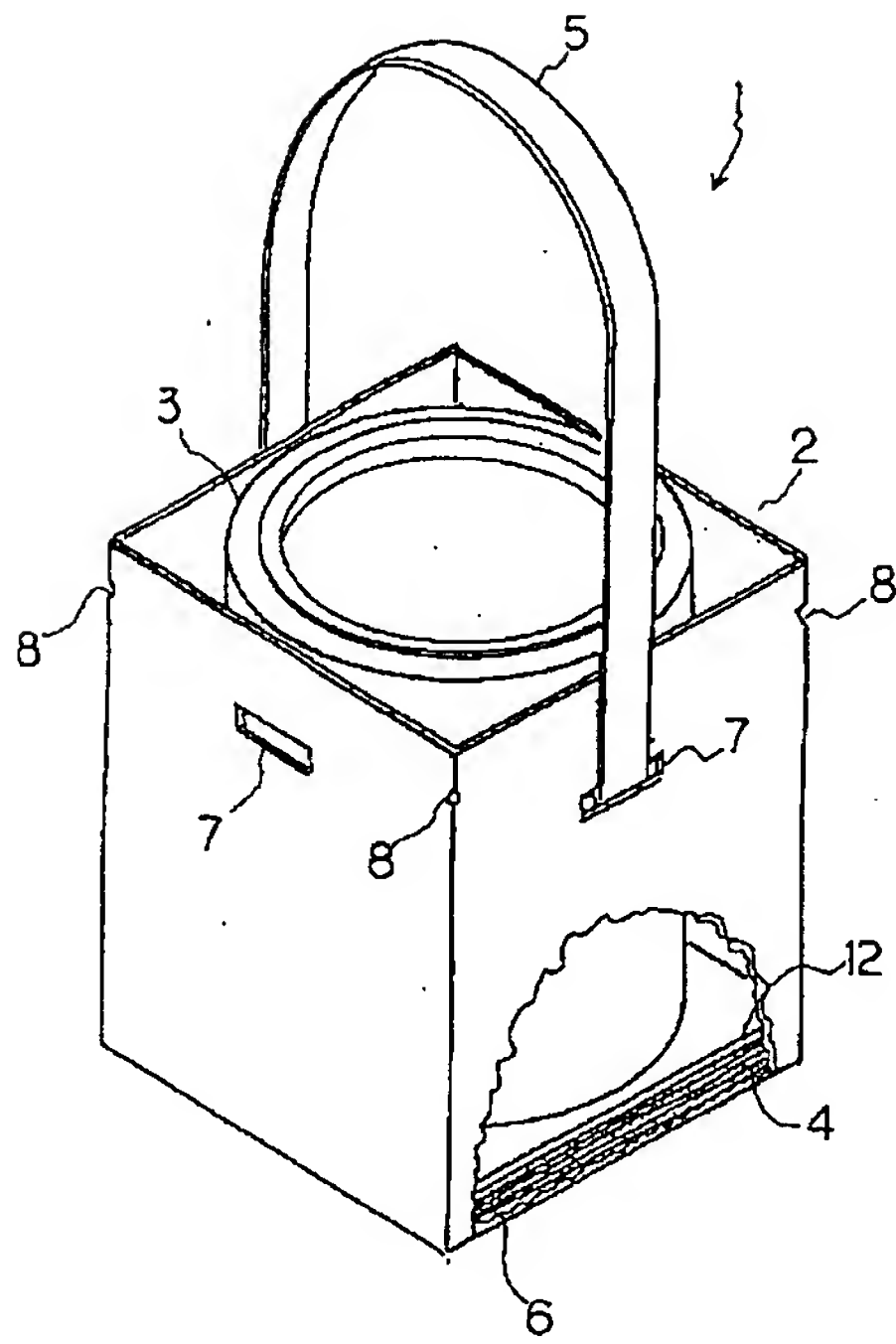
## 8 2 — 一袋開口部形成手段

### 8 3 — 作業用容器

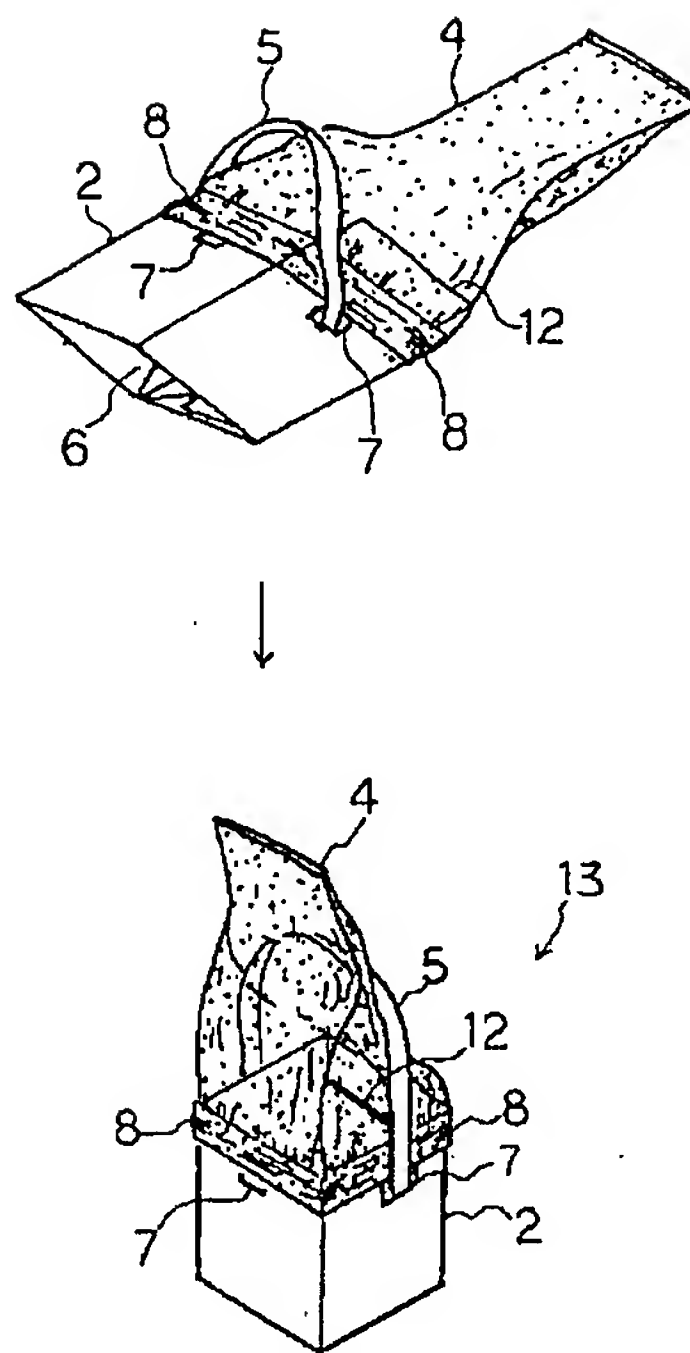
【图 12】



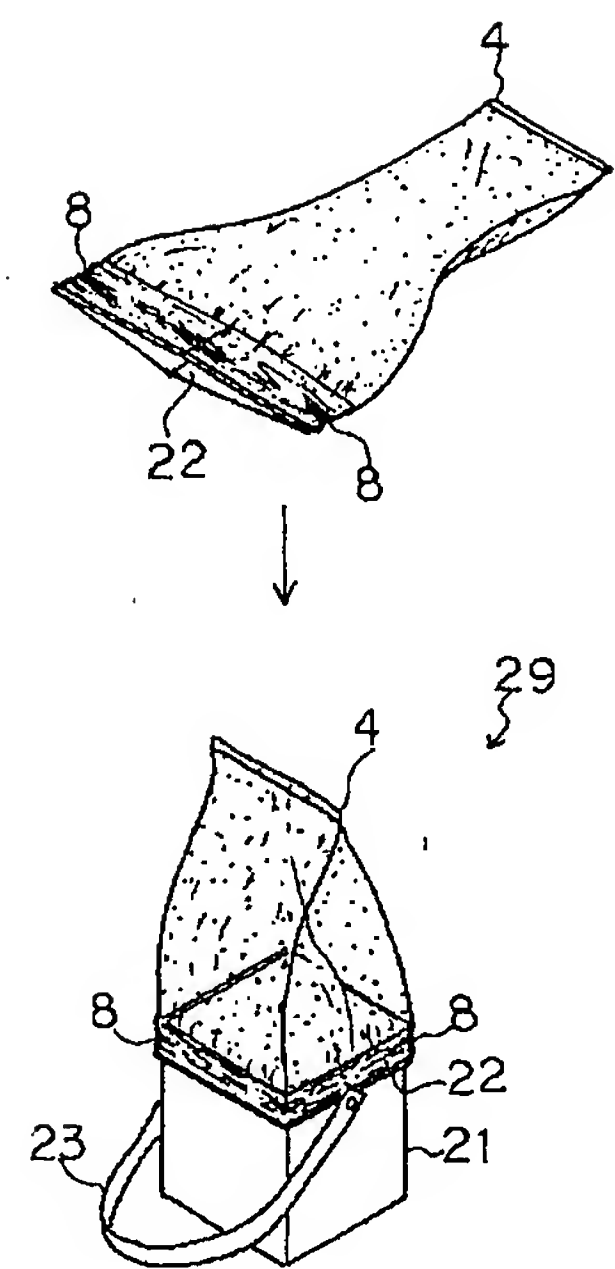
【図1】



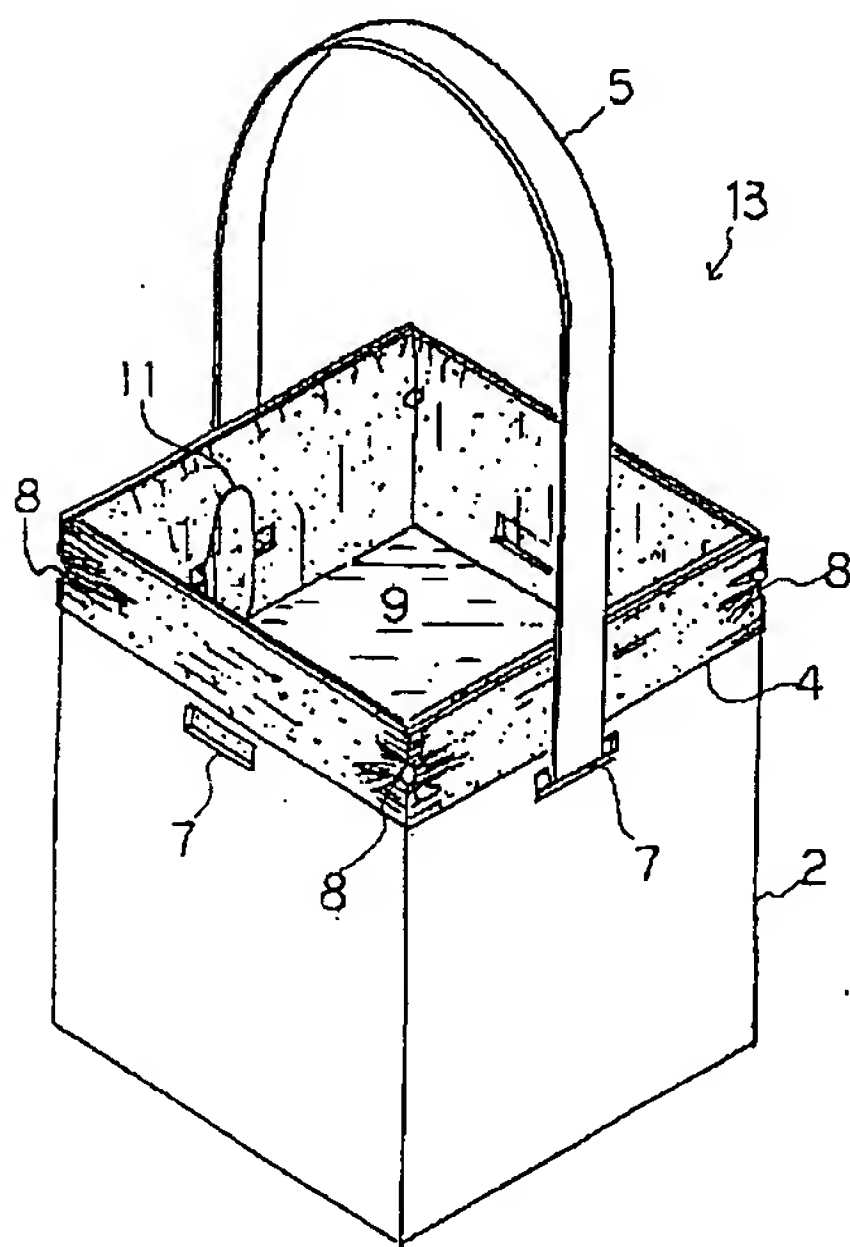
【図2】



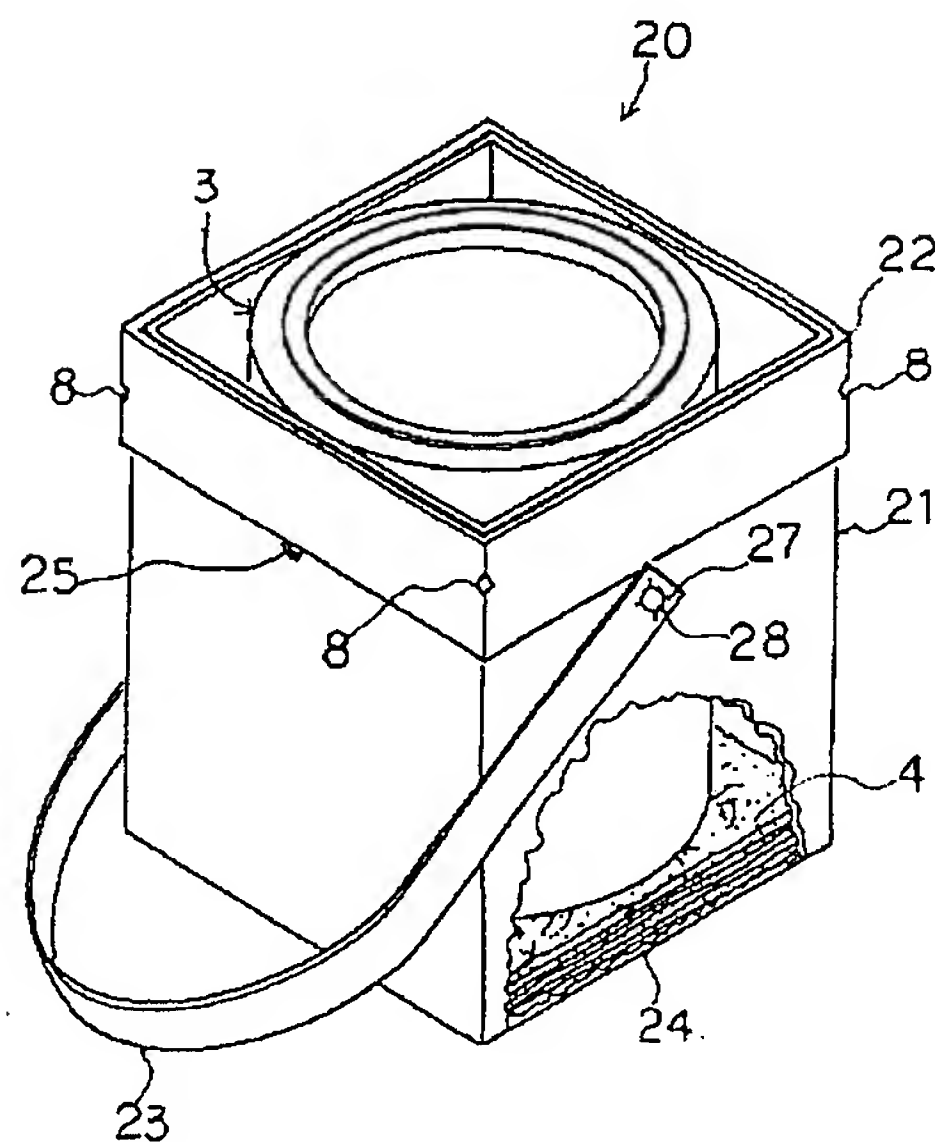
【図5】



【図3】

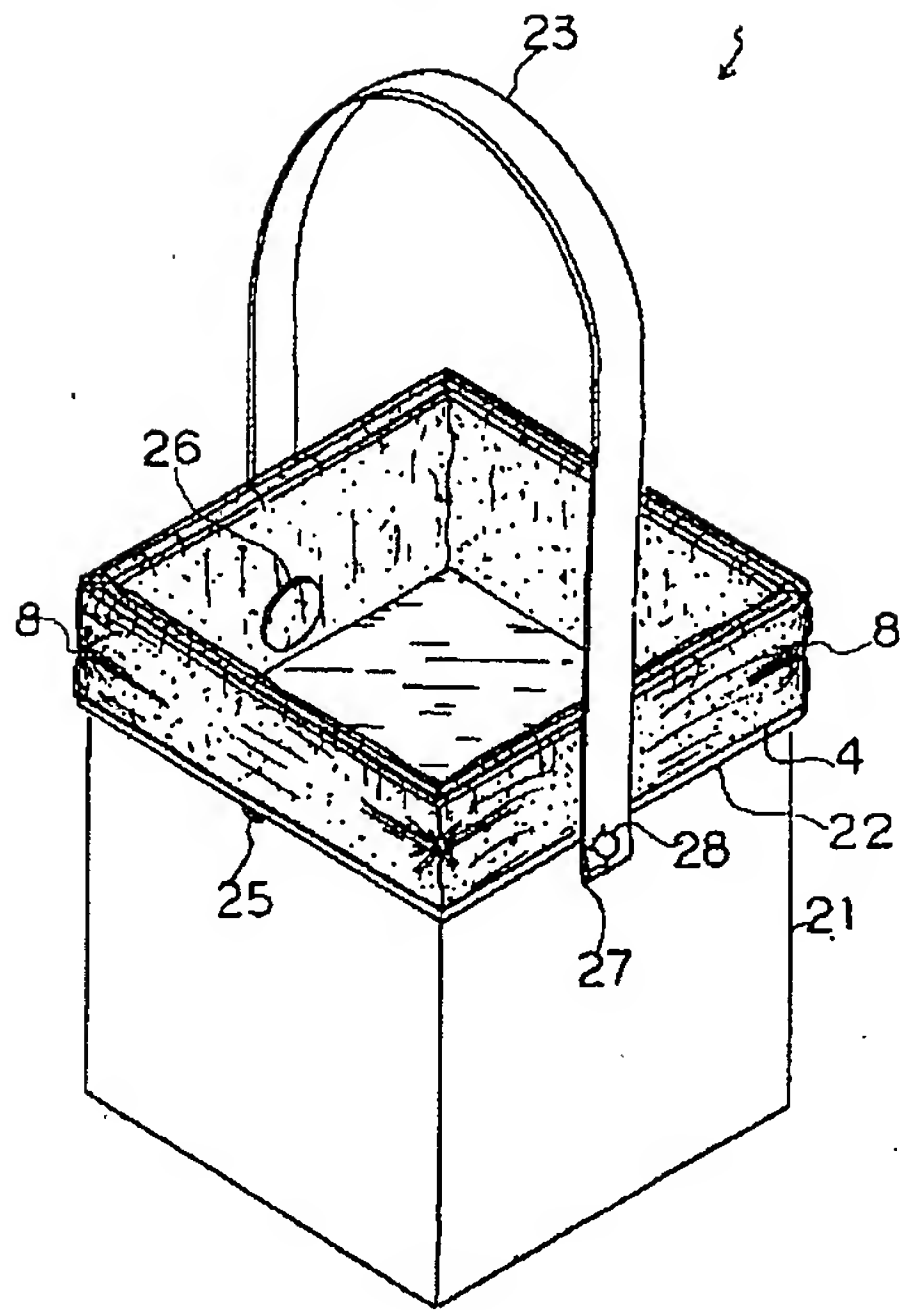


【図4】

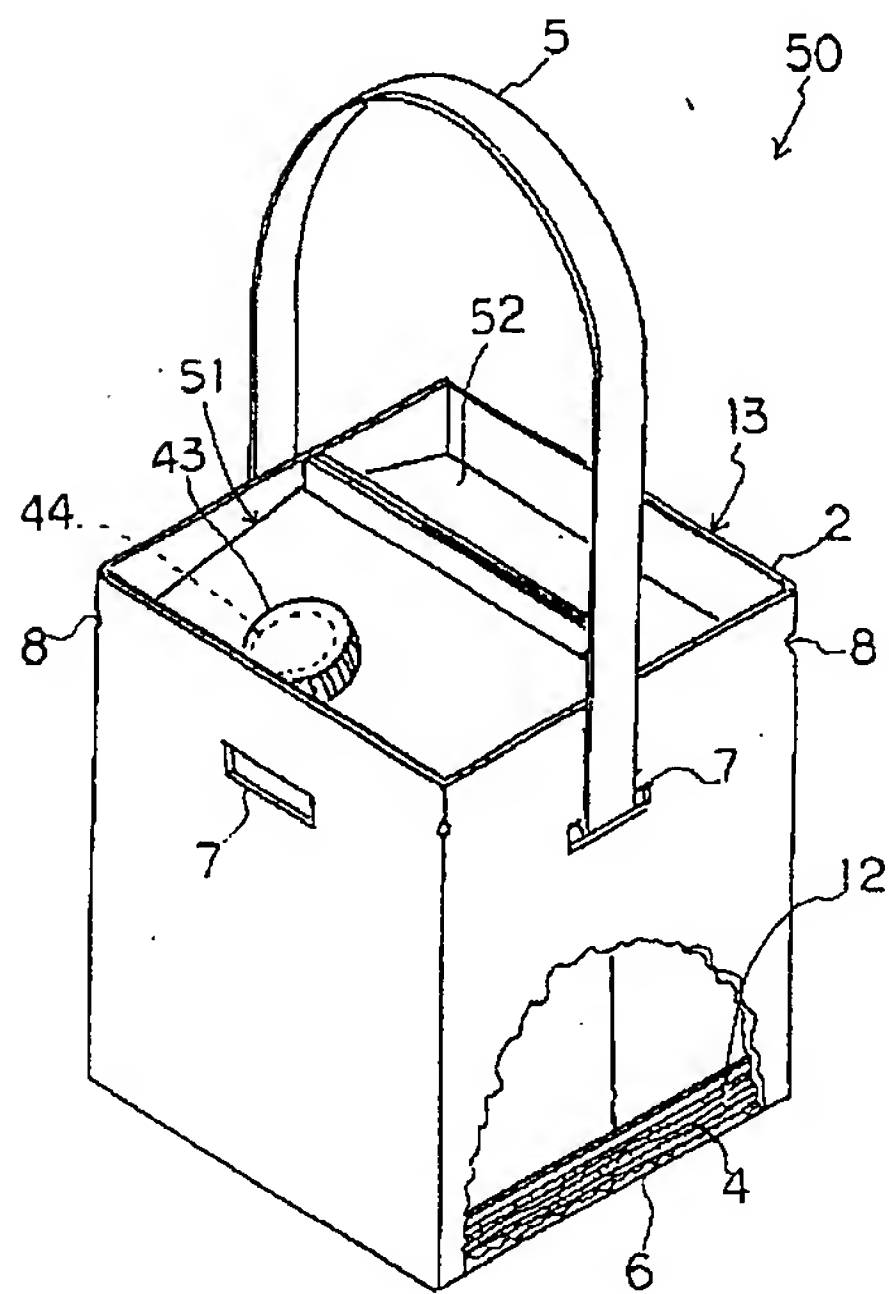




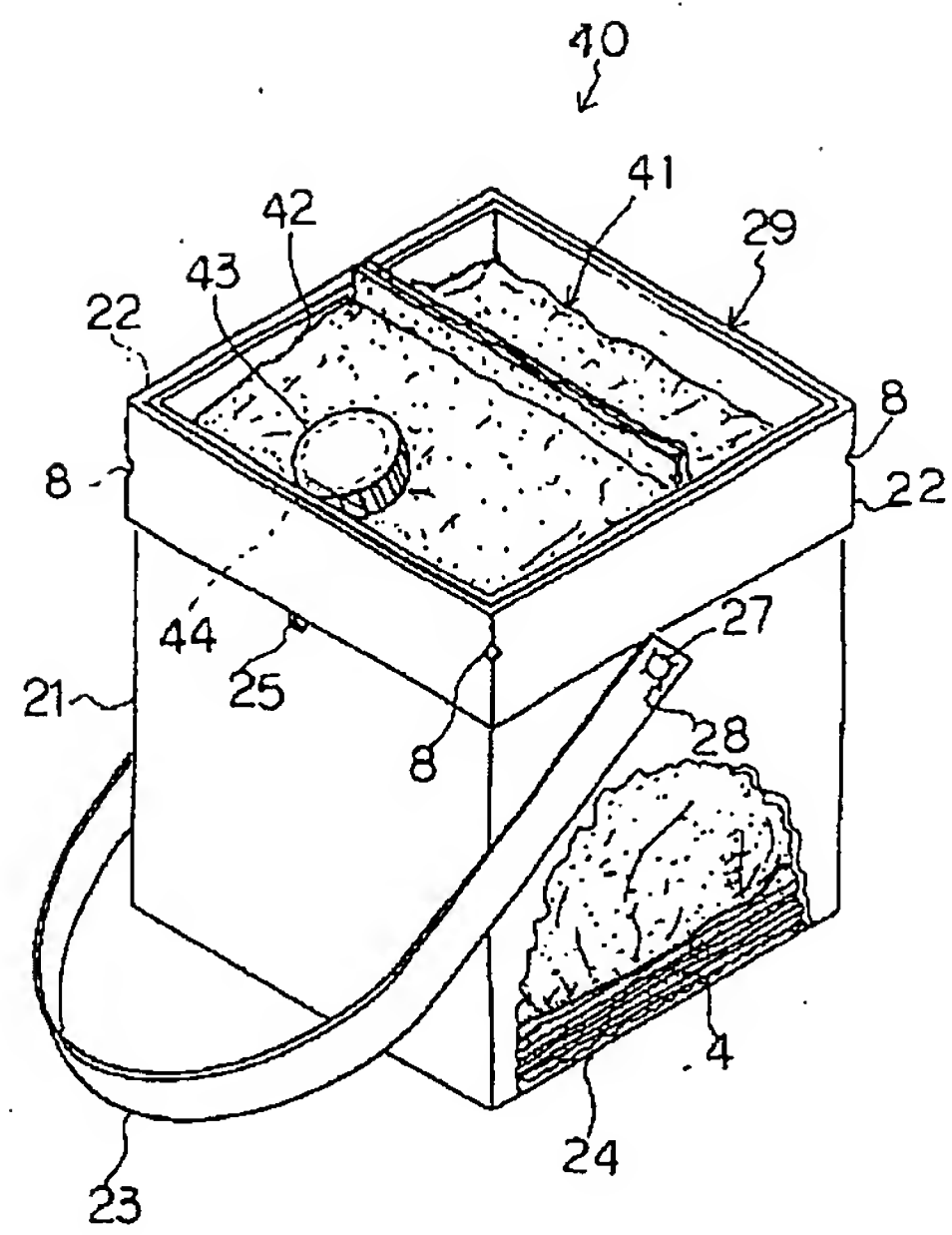
【図6】



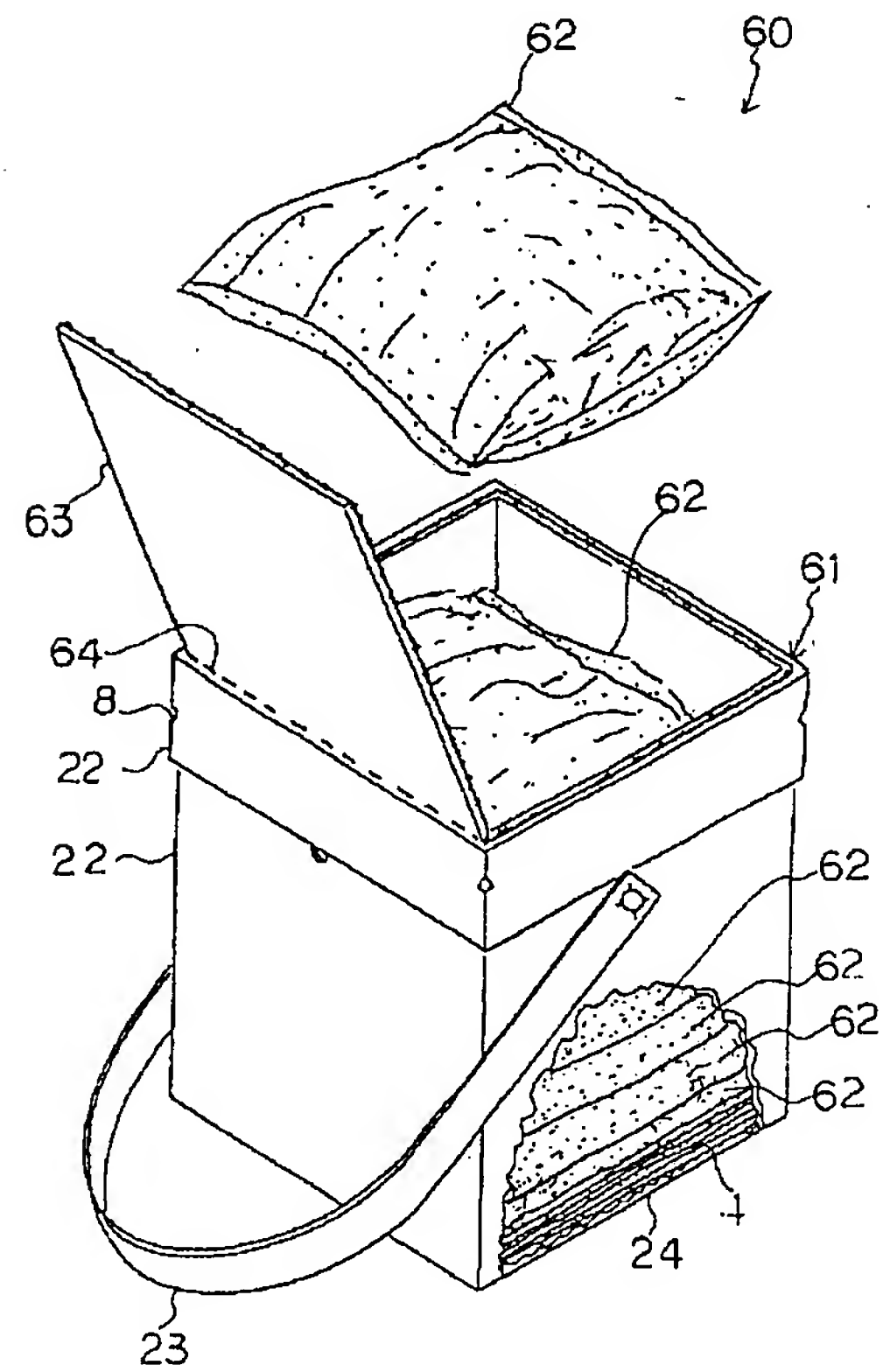
【図8】



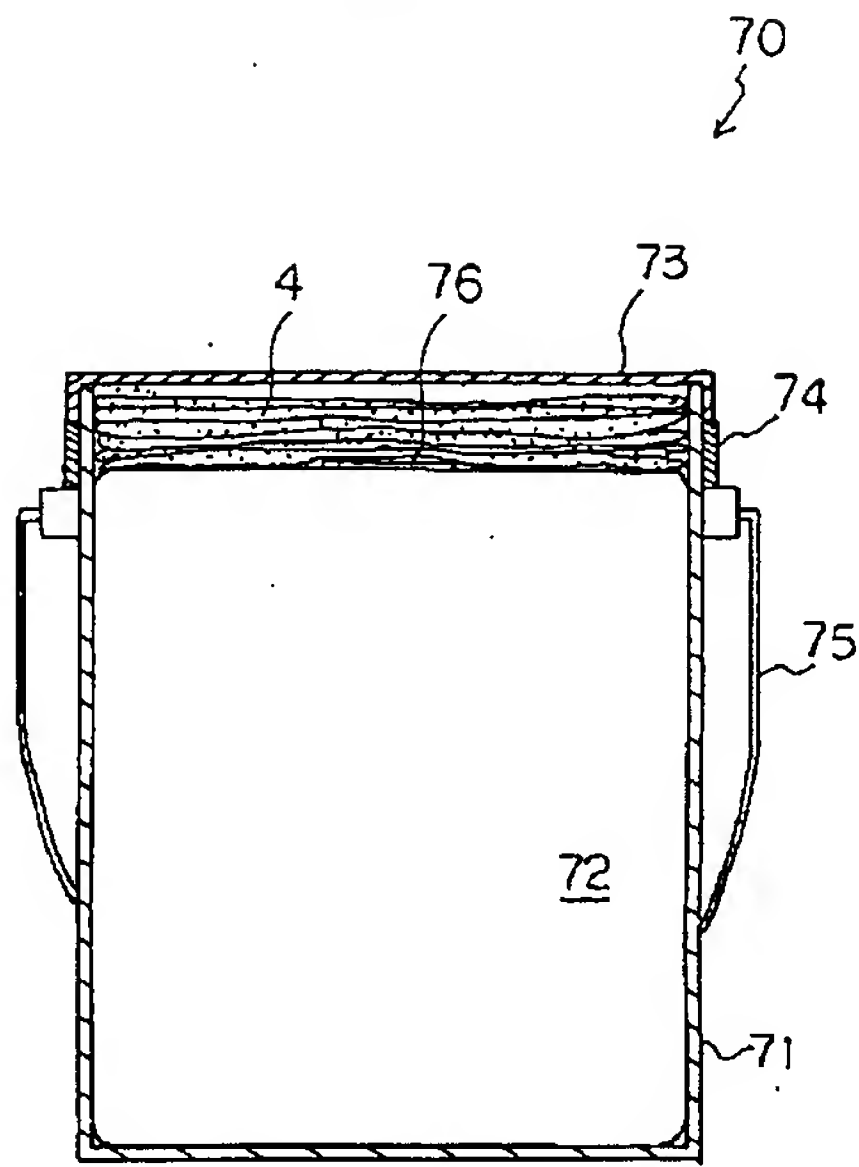
【図7】



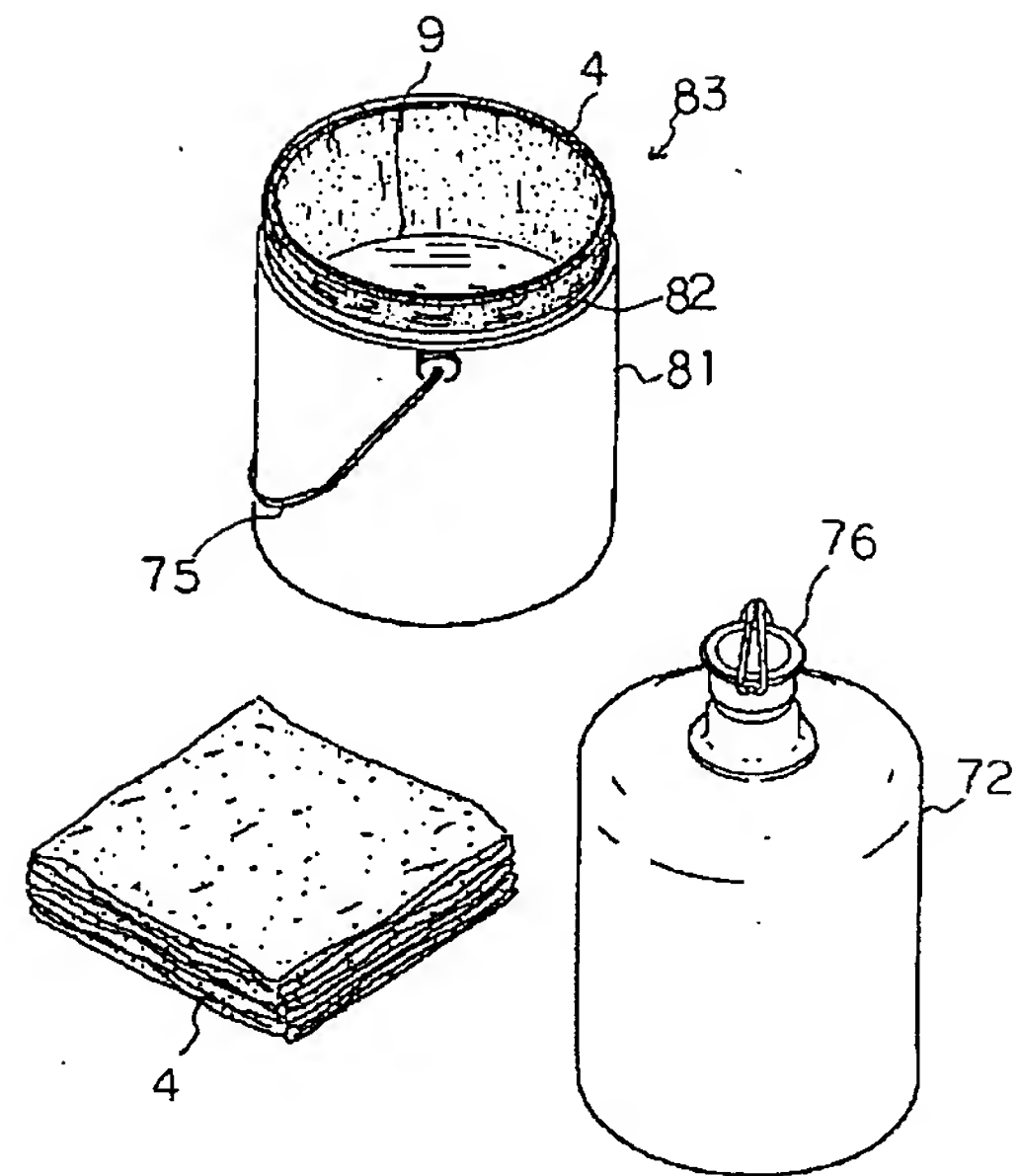
【図9】



【図10】



【図13】



フロントページの続き

(72)発明者 中谷 進  
山梨県中巨摩郡檜形町吉田898番地7の6  
号

(72)発明者 長島 広久  
埼玉県川越市下赤坂大野原718番地 八洲  
工業株式会社川越工場内  
(72)発明者 大竹 富勝  
埼玉県浦和市町谷2丁目17番10号  
(72)発明者 大河原 篤  
埼玉県日高市下大谷沢710番地

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**